

仏教企画通信

発行日 | 令和4年9月1日

69号

発行所 | 有限会社 仏教企画
〒252-0116
神奈川県相模原市緑区城山4-2-5
Tel. 042-703-8641
Fax. 042-782-5117
発行人 | 有限会社 仏教企画代表 藤木隆宣
Email | fujiki@water.ocn.ne.jp

戦後の平和に 潜む課題

現代社会では、どんな課題に対しても対応する答えがひとつとはかぎらない。なぜなら、現実的な答えと根本的な答えが、ときに矛盾しながら存在するからである。私たちは現実的な構造のなかで生きていく以上、この構造を前提とした対応が一方では求められ、他方で課題を根本的に解決するにはどうすればよいのかという思考が求められる。たとえば生活に困窮している人に出会ったとき、現実的な対応としては、その人に適切な支援をすることや、公的な支援を受けられるように協力することが必要になる。それは現在の社会構造を前提にした対応である。だがこのことによっては、問題が解決するわけではない。根本的な課題としては生活困窮者が生まれない社会をつくることや、困窮したとき当たり前のよう

いけば、今日の社会や経済のあり方をどう変えていくのかという問いにも答えなければならなくなる。

現実的な対応を無視するのは現実からの逃避であり、根本的な課題を考えないのも根源的な思考からの逃亡である。ロシアによるウクライナへの侵略に対しても同様のことがいえる。現実的な対応としては、ロシアがウクライナ領から撤退せざるを得ないようウクライナを支援することによって、たえずどこかで戦争を生みだしつづける世界が変革されるわけではない。根本的な課題としては、戦争が発生しない世界とはどんな世界なのかを見つけ出さなければならぬのである。

在があり、そのアメリカと日本は同盟関係を結んできた。だがそのアメリカは、政治的、軍事的、経済的な力を維持するために、たえず戦争をしつづけてきたのである。最近でもイラクやアフガニスタンへの侵攻があり、その前にはカリブ海の小国、グレナダの占領やパナマでは現職の大統領を軍の力で拉致したりもしている。アメリカに従わない国には、容赦なく戦争を仕掛けてきた。ベトナム戦争では日本の米軍基地が攻撃拠点になり、長期にわたる戦争の末にアメリカが敗北している。

私たちが暮らす現代世界は、平和とは裏腹の関係のなかに戦争があり、軍事力や経済力による威圧が平和を支えるという構造のなかに成立している。

内山節



世界の平和を 考える 「有事」を生まない社会とは

「無事」な関係がうむ 「無事」な世界

ところで、私自身はこれまで「平和」という言葉をほとんど用いてこなかった。戦争のない状態を平和と規定したとき、その平和は力による威圧によって成立している。そしてこの威圧はときに戦争へと転化する。現代世界での平和は、完全な平和、永遠の平和を意味しない。戦争という手段があるからこそ生まれた平和にすぎないのである。だから私は平和という言葉に信頼感をもっていない。今日のウクライナの平和を願うというように、現実のなかでは語らざるをえない言葉だとしても、である。

私がよく用いる言葉は、平和ではなく無事である。無事の反対語は有事で、有事のなかには戦争もふくまれる。といってもそれだけではなく、環境の破壊や災害、経済的破綻、病気で生活が困窮したりすることも生活者にとっては有事である。有事は「事」があるということであり、無事とは「事」がないことを意味している。

伝統的な日本の思想では、関係がうまくいっているとき、すなわち清浄な関係によって物事が動いているときには、問題が、すなわち「事」が発生しないと考えられてきた。たとえば自然は、自然を構成するさまざまなものの関係によって形成されている。太陽

この後、このままでは真理が永遠に失われてしまうと危惧した梵天から懇請されて、釈尊は人々に真理を説く決心をしたと伝えられます。しかし、弟子たちに求めた修行や規律の内容を見ると、「悟り」を開くためには、家族はもとより、あらゆる絆を断って出家し、生涯をかけて、禁欲を守り、並大抵ではない努力を続ける必要があったことがわ

わたしは、甚深にして見難く、難解、寂靜、妙勝であり、推論の領域を超えた微妙なもので、智者にのみ知り得るものだ。苦勞して証得したものを、いまや説くべき必要はない。貪りと瞋りに犯されてしまっている人々が、この真理をよく悟ることはできない。これは流れに逆らうもので、微妙にして甚深、見難く、精細なものであるから、貪欲に染まり、暗闇に覆われた者には見る事ができないのだ。

仏教の目的は、いまさら言うまでもなく、「悟り」を開くことです。しかし、それは文字どおり、至難のわざです。『聖求経』という原始仏典によれば、六年と一〇ヶ月の修行をへて、悟った直後、釈尊は心の中でこう思ったそうです。

お智慧を拝借

「悟り」と至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

道元禪師・瑩山禪師・鈴木正三師から学ぶ 三つの「智慧」

正木晃

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

道元禪師の自然観

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

道元・自然は仏の教えを説く經典である

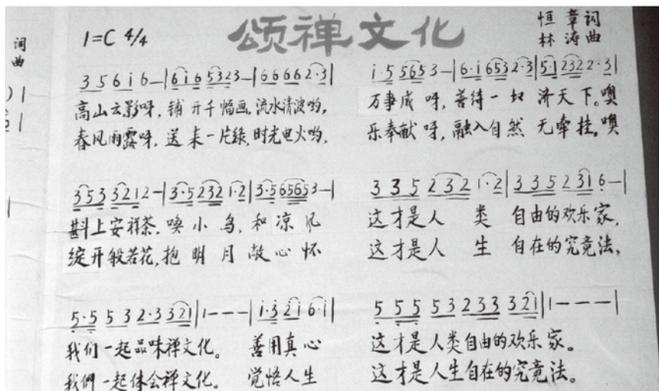
「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

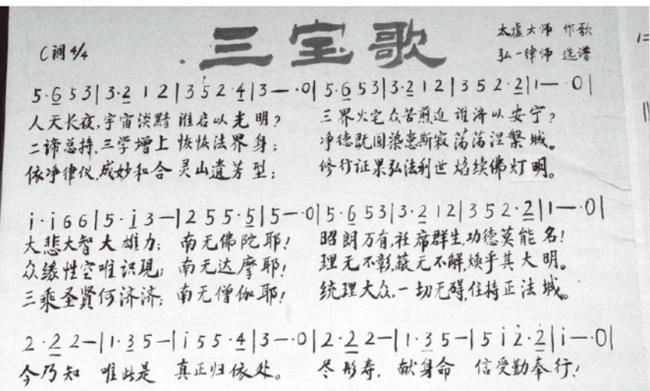
瑩山禪師の生命観

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。



頌禪文化(四祖寺 大雄宝殿外壁)



三宝歌(四祖寺 大雄宝殿外壁)

要に参列する僧侶が同音に歌う(吟ずる)曲目を示しているという。よくみると、各曲目には作詞者と作曲者の名も明示されているのであるが、「三宝歌」の作詞者に注目すると、「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

要に参列する僧侶が同音に歌う(吟ずる)曲目を示しているという。よくみると、各曲目には作詞者と作曲者の名も明示されているのであるが、「三宝歌」の作詞者に注目すると、「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

洞山良价禪師 千百五十回遠忌のお知らせ

道元禪師を開祖とする曹洞宗は、中国の唐代末頃に活躍した洞山とその弟子曹山に由来します。龍泉院東堂の椎名老師は、禪匠として敬慕する洞山禪師に関する『洞山』(臨川書店)を著されました。龍泉院では参禅会発足五十周年にちなみ、洞山禪師示寂千百五十回遠忌を催し、その中で「記念法要」「記念講演」および「対談」が開催されます。「記念法要」は参禅会員のみで厳修しますが、「記念公演」と「対談」は一般の方も参加できます。ふるってご参加ください。

洞山良价禪師 千百五十回遠忌	開催
10月30日	10:00~12:00
記念法要	13:00~14:30
記念公演	14:40~15:30
対談	

記念講演 石井修道先生(駒澤大学名誉教授) 演題「洞山良价禪師の千百五十回遠忌に想う」

対談 「中国禪と道元禪」 石井修道先生(駒澤大学名誉教授) 椎名宏雄老師(龍泉院東堂)

定員100名(参加無料) ハガキか龍泉院ホームページよりご応募ください。宛先：〒270-1456 柏市泉81 龍泉院参禅会 50周年係 電話番号 ④ 同伴の人数 ⑤ メールアドレス 10月15日(土)消印有効

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

「太虚大師」の名に驚かされるのである。この人は、中国の近代仏教史上第一流の仏学家かつ思想家とされる偉人だからである(釈尊初「中国仏教近代史」(台北中華仏教文化館)。

「悟り」へと至る道が開かれるとみなされてきました。そこで、まずは「なにか、

2022年5月刊行

佐々木宏幹 編著

宗教人類学の地平

別冊『写真が語るシャーマニズム』(総頁数63頁)付き

現代の僧侶に求められているものとは？

研究者として、寺院に生まれたものとして
「寺院と檀信徒のこれから」を繋ぐために

思索を続けた著者の珠玉の18遍



仏教企画刊
A5判上製 263頁(別冊:A5冊子)
本体2,300円+税

目次より	
口絵	
佐々木宏幹 略歴および業績(令和三年十二月現在)	
序 佐々木宏幹先生の学問	
宗教人類学からみた日本の仏教文化	小松和彦
「死者」と「あの世」考——宗教感覚の重層性について——	佐々木宏幹
日本人の「あの世」観(感)は衰弱しているか——盂蘭盆会を迎えるにあたって——	
理念と民俗のあいだ——宗教的ダイナミズムについて——	
日本仏教を支えてきたものとは何か——宗教慣行の崩壊という問題をめぐって——	
人びとが僧侶に求めるもの	
仏教文化研究の課題——仏教文化の民俗宗教性について——	
僧侶が必要とされる理由	
仏教的ダイナミズムの研究	
宗教(仏教者)と「力」	
修行と力	
日本宗教と民俗宗教性	
最近の葬式(念論)について	
「霊」の説き方考	
現代の寺院仏教論について	
現代日本人の宗教観(感)について	
東日本大震災と仏教	
大震災後の日本宗教論について	
大震災と日本人の宗教観(感)考	
佐々木人類学と日本の死者祭祀	高見寛孝
佐々木宏幹博士のシャーマニズム論	佐藤憲昭
刊行のことば	藤木隆宣
あとがき	佐々木宏幹

佐々木人類学と日本の死者祭祀
佐々木宏幹博士のシャーマニズム論
刊行のことば
あとがき

高見寛孝
佐藤憲昭
藤木隆宣
佐々木宏幹



別冊

別冊附録『写真が語るシャーマニズム』には、総数117枚のシャーマニズムに関する写真を掲載。佐藤憲昭昭澤大学名誉教授は、「本書は、単なる写真集ではなく、解説文のほかに、シャーマンのライフストーリーや活動内容の文章などが数多く見られ、従来には無かった、シャーマニズム研究の写真集として仕上がっている。シャーマニズム研究の第一人者が、日本とアジアの各地で行なってこられたシャーマニズム調査の足跡を知ることのできる本書は、まさに画期的な刊行であるといえよう。(本文より抜粋)」と紹介。

お申し込み：書店にはおいてありませんので、
ハガキ・電話・FAX・メールにてご注文ください。

仏教企画	
ハガキ	〒252-0116 神奈川県相模原市緑区城山4-2-5
電話	042-703-8641
FAX	042-782-5117
Eメール	fujiki@water.ocn.ne.jp

愚鈍な生命体は仏の大きな慈悲でなければ、救いはない。無知な生命体は仏の教えを説く経典でなければ、けっして解脱できない。オケラやアリは経典を心の底から信じて誦誦する者の手水に混って死ねば、カタツムリは仏法を聞く機会を得た者の杖の下で死ねば、いづれも畜生の境遇から抜け出て、須弥山頂にある切利天と呼ばれる楽土に生まれるかわる。ましてや今ここにいる五百人の聖者は、過去世では五百のクモリだつたのである。過去世で一万匹の遊魚は、今生で一万人の阿羅漢になつているのである。仏との縁は永劫に朽ちたり壊れたりせず、信仰の種まきは生を重ねてこそ、ついに成就するからだ。もしそうだとすれば、こき使っている奴婢も牛馬も、そして寺領に住む水陸の生命体も、まちがいでなくわたしたちのお仲間なのだ。必ずや世世流転の道連れなのだ。憐れみ愛しんで、これらの生命体が凡夫から聖人に転じるように祈るべきである。哀れみ氣遣つて、これらの生命体が智慧を増大させ、そのおかげで転生の回数が減るように願うべきである。

また、田畑を耕すときに犠牲になつたミミズや蛙、あるいは自然界の魚や虫のたぐいまで供養するのは、他に例を見出しがたいのです。まして「清規」として正式に定められている事例はまずありません。しかも、人間も人間以外の生命体もみな、仏法の前に同類だといひ、それを「今の聖者は昔のクモリ、昔の魚は今の阿羅漢」という表現は、まさに大乘仏教の真髓といえます。この教えは文字どおり「一視同仁」の極みであり、二一世紀の宗教にふさわしい思想として、高く評価されて当然です。

正三師の労働観

鈴木正三師(一五七九〜一六五五)は、道元禪師や瑠山禪師ほど有名ではないかもしれませんが、江戸時代初期の曹洞宗を代表する人物の一人です。出家する前は徳川家康の親衛隊に属し、大阪の陣で戦功を立てた勇猛果敢な武士でした。その反面で、幼少の頃から出家したいという強い願ひがあり、大阪夏の陣が終わつて、ようやく平和な時代になつたこともあつて、ついに四二歳で出家し、曹洞宗の僧侶となりました。

また、職人の心がけについて説く『職人日用』という著作では、こう述べています。職人から質問された。死後のことや悟りが大切とわかつていますが、家業を営むのが精一杯で、余裕がありません。日夜、生きていくために働き詰めで。このような状態では、どうして悟りに至れるのでしょうか。お答えしよう。どのような仕事もみな仏行なのだ。仕事によって、成仏なさるがよい。仏行ではない仕事などない。あなたがなすことすべてが、一つ残らず世界のためになると知りなさい。同じく、商人の心がけについて説く『商人日用』という著作では、こうも述べています。

商人から質問された。またま人として生まれてきました。どうしようもない売買の仕事をしています。どうしたらもつと儲けられるだろうかとばかり考えていて、心が休む時がなく、悟りに至るのは無理なので、無念でなりません。なにか良いすべはないでしょうか。お答えしよう。売買をする人は、まづもつと儲かるように心遣いを修行しなさい。その心遣いとはほかでもない。身命を天道になげうち、正直一途の道を学びなさい。正直な人には神々のめぐみが深く、仏陀からも不可思議な加護があり、災難をまぬがれ、おのずから福德を獲得し、皆から深く愛され敬われ、万事うまくいく。私欲をもつぱらとして、自分と他人を隔て、他人を出し抜いて、儲けようとするならば、天道の祟りがあり、災いに遭遇し、万民から憎まれ、誰からも敬愛されず、万事うまくいかない。

追記
私事にわたり恐縮ですが、道元禪師や瑠山禪師の自然観・生命観については、アメリカのコーンビア大学のリサ・ミラー教授から依頼され執筆した英文の学術論文が、世界的な学術誌『International Journal of Educational Research』に、査読を経て、掲載されています。以下のホームページで読めますので、興味のある方はぜひどうぞ。ちなみに、この論考に対する査読担当者の評価は「この論文は美しく、特集号に素晴らしい貢献をしてくれた」でした。
「Spirituality of Japanese Buddhism considered from enlightenment of nonsentient beings (非情成仏から考察する日本仏教のスピリチュアリティ)」
<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S088303522000970>



プロフィール
正木晃(まさき あきら)
宗教学者。一九五三年神奈川県生まれ。国際日本文化研究センター助教授、慶應義塾大学・立正大学非常勤講師を経て、現在、早稲田大学オープンカレッジ講師。『再興！日本仏教』など多数の著書がある。

編集後記

今私の関心事をあげてみたい。

①ロシアによるウクライナ
侵略から「世界平和」をどう
考えるかを哲学者の内山節先
生にお尋ねした。

②安倍晋三元首相の暗殺事
件から旧統一教会の動向を検
証してみたい。

③コロナ禍が長引き既成仏
教(寺院)の存在価値の総点検
の3点だ。

①については仏教企画通信
69号にて掲載している。世界
平和の難しさが浮き彫りにな
り引き続き先生のお考えをお
願ひしている。

②については曹洞禅グラフ
冬号にて(次号)にて掲載予定。



藤木隆宣

宗教学の立場から歴史上のカ
ルトや教団形成過程を研究対
象の一つとされ、その成果に
基づきオウム真理教の法廷に
も立たれた宗教学者正木晃先
生と学生時代に旧統一教会に
出入りしていた曹源寺中村瑞
峰師の対談を予定している。
司会は藤木が務める。『仏教
企画通信』でも掲載予定。

方を知りたいはずだが、それ
に伝える体制が伝統仏教界に
はないのが現状でまことに情
けない限りだ。国民がまずは
安心して相談できるのは伝統
仏教の全国の寺院のはずだ。
その体制を早急に立ち上げる
べきと考える。コロナ禍が長
くなり一般ご家庭の関心ごと
の中に写経、写仏、坐禅など
があるようだ。私も牛歩の動
きしかしていないが、近くの
お寺で活動していることがわ
かれば少しづつ広がっていく
のではないだろうか。もう一
つ実現したいアイデアがある。
ご法事で参列者に簡単な写経
や写仏をして頂くのはどうだ
ろう。私の住職地でも実行し
たいと考えている。面倒だけ
ど特に若い参列者には良いイ
ンパクトがありそうだ。全国
のご寺院からのご意見を是非
伺いたい。

2023冬・正月号特集予告

2022年10月30日 発刊予定

曹洞禅グラフ

163号

曹洞宗の檀信徒が知っておきたい
旧「統一教会」の中味。

宗教学の立場から歴史上のカルトや教団の形成過程を研究対象の一つとする。その成果に
基づく証人として、オウム真理教の早川紀代秀・新見智光・高橋克也の裁判に出廷を依頼さ
れ、見解を陳述。元信者の社会復帰にもかかわる。旧統一教会の内情にも詳しい宗教学者
正木晃氏×学生時代に旧統一教会の活動を詳しく調査していた中村瑞峰師・司会藤木隆宣

仏教企画発行の刊行物 (*部数により割引があります) すべて税別価格です

- 『修証義』解説 丸山劫外著 1,400円*
- 『うたい継ごうよ、子守唄』 長田暁二・西館好子共著 1,200円*
- 『まんが問答一期一話』 文平和宏昭 まんが垣内敬遠 1,200円*
- 『葬送のしおり』 長井龍道著 30円
- 修証義読本『生老病死』 須田道輝著 500円*
- 『曹洞宗檀信徒経典』 須田道輝解説 300円*
- 曹洞宗檀信徒必読『供養のすべて』 靈元丈法著 140円*
- 曹洞宗檀信徒必読『葬儀のすべて』 靈元丈法著 150円*
- 俳句随想 玉崎千鶴子 その永遠の世界を探って 500円
- 『観音の咒 大悲心陀羅尼』 渡辺章悟著 500円
- 『宗教人類学の地平』 佐々木宏幹編著 2300円

*『仏教企画通信』を10部以上購読希望の方は一部100円で頒布致します。同封はがきの空欄にその旨をお書きください。(消費税、送料別)

曹洞禅グラフ

発行日

春 彼岸号	2月10日
夏 お盆号	5月30日
秋 彼岸号	8月20日
冬 正月号	10月30日

1部 200円

9部以下	200円
10部以上	150円に割引
20部以上	135円に割引
50部以上	130円に割引
100部以上	120円に割引
200部以上	110円に割引
300部以上	100円に割引
500部以上	90円に割引

宗教人類学の地平

佐々木宏幹先生が『仏教企画通信』に執筆された玉稿より収録

佐々木宏幹編著

(駒澤大学名誉教授)

A5判上製・263頁
(別冊:A5冊子63頁・
「写真が語るシャーマニズム」付き)
本体2,300円+税



仏教企画刊

手まり学園

寄附者御芳名

R4.5.19~R4.8.1

所在地	寺院名(個人名)	金額
東京都	石井友子	5,000
神奈川県	荻田桂子	3,000
神奈川県	甲斐英佐子	10,000
埼玉県	倉津幸太	50,000
神奈川県	青木義次(105)	5,000
東京都	石井友子	5,000
神奈川県	青木義次(106)	5,000
東京都	石井友子	5,000
神奈川県	青木義次(107)	5,000
合計		93,000

てまり学園にご支援をいただき誠にありがとうございます。

お申込み

〒252-0116 神奈川県相模原市緑区城山4-2-5
TEL: 042-703-8641 FAX: 042-782-5117 Email: fujiki@water.ocn.ne.jp

仏教企画

※ご寺院名後の番号(3桁もしくは4桁)がお客番号(コード)になります。
お申込みは ①ご寺院名 ②お客番号 ③電話番号でも可能です。